

平成26年度 社会福祉法人 進和学園 事業報告書

基本宣言“一人には一人のひかり”“医・職・住・友・悠”を基に基本方針・重点目標を「本人中心」・「健康と安全」とし、事業の推進をしてまいりました。おかげさまで障がい部門 445 名並びに保育園の園児 277 名が明るく元気に過ごせたことは誠にありがたいこととあります。改めて地域の皆さまはじめ、七つの輪（本人、家族、地域社会、ボランティア、行政、職員、法人役員）のご理解ご支援あってこそこのものと深く感謝申し上げます。

障害者総合支援法の3年後の見直しが社会保障審議会福祉部会において、今後検討される予定です。引き続き関係団体とともに、真に利用者ご本人の自立に向けた取組みができる制度を要望してまいります。

いずみ保育園の建替工事の準備・調整が整い、仮設工事に進捗することができました。1年をかけて建設に入ります。今後もサービスの質を維持し、ご本人、ご家族が安心できるよう最大限努力するとともに、地域に貢献できる施設運営に努めてまいります。

I. 平成26年度及び中・長期計画の具体的目標について

《重点目標Ⅰ 施設整備》

1. いずみ保育園・本部等の再整備

いずみ保育園建替新築工事は、保育園・法人本部・放課後等デイサービス（発達障がい児支援・ソーシャルスキルトレーニング）の機能を併せ持つ複合的な施設を目指し、平成26年度・27年度の2ヵ年事業として（株）安江設計研究所の設計監理のもと進めております。平成27年2月26日には仮設園舎建築工事、平成27年3月25日には本体工事の入札を行い両工事共に（株）匠建設が落札し施工業者に決定いたしました。万田ホーム駐車場に建築中の仮設園舎につきましては、5月18日に施主検査を行ったのち、5月23・24日に引越しを行い5月25日（月）より仮設園舎での保育活動が始まる予定です。仮設期間中の保育園と万田ホームの活動等が円滑に出来るよう配慮し、十分な安全対策を行っていきます。

2. グループホームの拡充

計画にありました、地域のご支援者に建設していただき借上げる形での、小規模な暮らしを基本としたバリアフリーのグループホームについては、引続き検討してまいります。

3. やましろホームの日中活動室の整備

計画にありました、日中活動のスペースや雨天時の活動場所を確保するため新しい活動場所として、同敷地内に日中活動室を整備することについては、引続き検討してまいります。

《重点目標Ⅱ 運営》

1. 人材育成の推進

計画通り、人材育成特別チームと職員養成委員会を中心に取組みました。階層別研修と各施設でのスーパービジョン方式の人材育成を重点とし、国家資格取得奨励と人材の質のレベルアップに取り組みました。また個人目標を全職員が設定し、各自が資質向上への意識改革を目指しました。

2. 人事考課制度の確立

計画通り、職員の意欲を引き出すこと、福祉サービスの向上と組織運営の効率化を図ることを目的に、職員のヒアリング「平成26年をふりかえって」をもとに、評価票を作成し自己評価と施設評価を行ない、職務遂行・貢献度に応じた自己評価・施設評価・法人評価を実施し、年度末の期末手当に、また昇給にも反映できました。引続き職員の意欲を引き出せるよう制度のレベルアップを検討してまいります。

3. 生活体系の検討・推進

①はばたき進和を中心に、高齢化、重度化に対する専門的ケアの必要性を実感する1年でした。

嘱託医の協力のもと、昨今、予防を啓発している肺炎球菌ワクチンの接種、骨粗鬆症予防の注射も実施しました。痰の吸引等の対応は、引き続き検討していきます。また医療機関との連携、総合的な保健協力体制、支援技術の向上に引き続き努めていきます。

- ②ビーライトしんわの放課後等デイサービス事業は、下校時刻に学校へ迎えに行き施設で過した後に自宅にお送りしており、児童の過す場所を提供するだけでなく、働く母親にとっても勤務時間の確保につながる必要なサービスとなりました。また近年増加傾向にある発達障がい児に対しては、ソーシャルスキルトレーニングを提供しました。また平塚市内の小学校でも課題となっている発達障がい児に対しては、平塚市子ども教育相談センターと連携し学校訪問やケース会議を実施しました。特に保育園整備に含まれる2拠点目の児童 SST 開設(平塚市より SST 開設要請を受けている)のため職員の養成を図りました。
- ③サンメッセしんわは、生活介護 30 名と就労継続支援 B 型 30 名の多機能事業所として運営してきましたが、生産体制推進、運営の効率化を図るため、生活介護を変更して就労継続支援 B 型 60 名に統一する計画を各方面と協議し、平成 27 年度に実施することとなりました。
- ④地域在宅者としてアフターケアを提供してきた元グループホーム利用者の加齢に伴い、さかえハイツ湘南平の 2 階部分を活用した「ハイツ湘南平 201」「ハイツ湘南平 202」各定員 2 名を 8 月 1 日に開設。また、いずみ保育園の建替新築工事の関連整備として、ファミリーユ吉川の 2 階部分も借用し、11 月 1 日にファミリーユしんわの定員を 9 名から 16 名に増員しました。

4. 相談支援事業

行政機関より委託を受けて実施している相談業務は年々発達障がい、引きこもりや触法ケース等難しいケースが増えていること、また増加するサービス等利用計画作成に対応するため、相談業務体制が厳しい年となりました。27 年度は強化(人員の増員)をします。またビーライトしんわは障がい児相談支援事業に取り組みました。特に業務の充実には専門資格取得が欠かせないため、中堅職員を中心に外部・内部研修を行いました。

5. 作業体系の充実

- ①自動車部品組立作業は、本田技研工業様様の深い理解のもと 41 年にわたり発注いただいています。平成 26 年度は国内生産の減産に伴い、作業収入が大幅に減収しました。しかし(株)研進と協同した受注確保の努力の結果、平成 27 年度は受注増の方向です。
- ②自動車部品組立作業以外の平成 26 年度の作業収入目標を 1 億 3 千万円としましたが、売上が 1 億 4 千 8 百万円と目標を達成、生産事業推進会議を中心に、法人全体の横断的、柔軟的な生産事業体系をもって受注並びに販路拡大に努めました。また各方面の協力もいただき作業種目の拡大を推進しました。特に自主製品の生産については、サンメッセ、プチブーケ、ともしびショップを中心に平塚商工会議所の逸品研究会、湘南ひらつかグルメ博等への参加を通じて、市内商工関係者と連携のもと製品開発、販路拡大、イベント参加に努めました。
- ③サンメッセについては、小松菜とトマトを練りこんだパンを平塚市内小学校の学校給食に、ソフトフランスをワタミ様から注文いただくなど、冷凍方法の導入により大口の注文に対応できるようになりました。またラスカスのウイクリースイーツは、今年度焼き菓子の販売に挑戦し売り上げに貢献しました。製パン・製菓の売上也当初の計画を達成し、3 千万円の大台に乗りました。
- ④ルネッサンスの農産品加工事業は、農林水産省 6 次産業化ネットワーク施設整備事業の助成を受け、しんわルネッサンス 1 階の作業場を改修し、農産品加工場を整備し、平成 26 年 6 月に事業を開始しました。1 年目はトマトの収穫時期は終わりかけていたため、生産目標に届きませんでした。しかし平成 27 年度はトマトジュース等の本格的生産に向けた生産体制の充実(人員の増員)を図り、また新種の加工レシピの充実をおこない、委託加工の拡大も図ります。
- ⑤施設外就労として、地元スーパーしまむら様のバックヤード作業と環境整備の請負、特別養護老人ホーム(高根台ホーム様)の清掃作業の請負、神奈川県公園協会様と苗の育成作業

等について引き続き取り組んでまいりました。

- ⑥在宅就業障害者支援制度の利用については、施設外就労として就業支援団体の(株)研進と連携し、地元しまむらストアのバックヤード作業と環境整備作業を請負いました。また在宅就業支援団体の学園は平成 26 年 2 月より神奈川県公園協会のポット苗育成作業を請負いました。
- ⑧就労移行支援として、企業実習、就職面接、就職相談会等を支援し、平成 26 年度は 6 名、現在まで 55 名の就労実績がありました。一般企業への就労を引続き推進してまいります。
- ⑨いのちの森づくりは今年度苗の販売は大きくは伸びませんでした。育樹の需要がありました。本田技研工業(株)様、(株)サンライフ様他より「いのちの森づくり友の会基金」に多額の寄付をいただき、就労支援のため活用させていただきました。また(株)研進と共同で他法人施設との連携に努めることができ、ネットワークも広がっています。
- ⑩ともしびショップ湘南平の再構築計画を検討してきましたが、実施は 27 年度に持ち越し、さらなる需要調査をし、サンメッセの菓子・ケーキ・パン類を導入した軽食・喫茶メニューの導入も含め引き続き検討します。
- ⑪平塚市役所新庁舎の 1 階東側多目的スペースにおける福祉ショップ「ありがとう」は、市内福祉関係団体がひとつになり組織した「ひらつか福祉ショップ運営協議会」が主体となり販売も順調です。サンメッセはその事務局を担当しています。また FM 湘南ナパサのラジオ番組(ナパサクラブ制作)に参画し、福祉現場からの情報発信、福祉啓発に努めました。

《中期・長期目標》

今年度は月報しんわのホームページ公開が達成できました。

II. 障がい施設運営について

1. 施設運営

「本人中心」「健康と安全」を基本として、一人ひとりの個別支援計画の目標をもとに支援ができるよう、ほほえみある、さわやかな施設運営に努めました。各施設の機能と役割をもって、児童療育支援を含んだ幅広い年齢層・障害程度の利用者へ支援を行いました。高齢の介護度の高い方、行動障害を伴う方の生活支援と、中・軽度の方の就労支援を推進しました。

2. 防災について

防火管理者会では各事業所の本人防災委員と共同で活動をしています。26 年度も平塚市災害対策課、地域消防団の協力のもと、年 1 回の総合防災訓練を万田・高根地区(11 月 5 日)と土屋・吉沢地区(11 月 14 日)に実施し、事業所毎では月 1 回の非常災害訓練を実施、地震や火災などあらゆる災害を想定した避難訓練を実施しました。また防火管理者会として様々な防災講演会への参加や心肺蘇生の講習会を職員対象に開催し有事の際に迅速かつ、冷静な対応が出来る様に積極的に実施しました。

3. 保健活動について

利用者ご本人の通院に関する業務や内服薬の管理、毎月の血圧・体重の計測、日常の衛生への呼びかけを実施。また年 2 回の嘱託医による健康診断をはじめ、各種検査(胸部レントゲン、血液検査、尿検査、検便等)の他、口腔健診も実施しました。人間ドック(139 名受診)、婦人科健診(34 名受診)の結果をふまえ、健康の維持・増進、疾病の早期発見・早期治療を図るため個別的な具体策を計画・実施しました。それにより癌など命に係わる疾病の早期発見・早期治療が実施できました。インフルエンザ対策としてはワクチンの接種を実施し、また健康助成規定により職員の間人ドック(106 名受診)も実施しました。

4. 生活体系の充実について

しんわ本人自治会連合会では、「自分で選んで自分で決める」「本人中心」を徹底してまいりました。各施設の活発な自治会活動をもとに毎月の連合会役員定例会、年 1 回の総会(6 月 7 日)を開催しました。また本人自治会連合会が中心となり年末募金活動を行い、各団体に皆様の善意をお届けしました。さらに、「しんわ文化スポーツ振興会」との協力体制のもと、余暇の同好会活動と各種行事に積極的に参加しました。また、在宅障がい児者

の支援として、短期入所(学園全体で7,903件)、日中一時支援(学園全体で761件)を実施しました。

5. しんわさわやか相談室について

法人さわやか相談室は、6月21日(土)に開催し、第三者委員2名、ボランティア1名、本人代表3名、家族代表2名に出席していただき、平成25年度の各施設及び保育園の相談・苦情実績を報告(施設部門の相談件数11件・苦情件数5件、保育園部門の意見・要望件数7件)をしました。現在、進和学園を利用している方は500名程になっており、対応が難しいケースも増えてきていることから、今まで以上の配慮が必要となるため第三者委員の方への協力をお願いしました。

施設さわやか相談室は、ご本人及びご家族からの相談・苦情を随時受け付け、ご本人の自立を支援してきました。湘南西地区苦情解決委員会では、第三者委員2名が各施設を訪問され、各施設本人自治会との懇談や施設見学を行っていただきました。

6. 児童福祉法による事業の推進について

25年度より児童福祉法による放課後等デイサービス事業をビーライトしんわに集約し事業展開しています。定員10名のSST部門(ソーシャルスキルトレーニング)と定員20名のタイムケア部門を実施しました。両部門の活動は、SST部門では、1,768件(対前年度比+164件)、タイムケア部門は、4,951件(対前年度比+644件)の実績をあげました。相談部門は、390件(対前年度比-78件)でした。また平塚市こども教育相談センターと連携の下、療育相談や学校訪問を積極的に実施しました。

7. 相談支援事業について

総合相談窓口サンシティひらつかは、国事業の障害者就業・生活支援センター及び県事業の生活支援事業および地域就労援助センターを総合的に実施しました。また平塚市からの委託事業である相談支援事業、地域活動支援センター事業、サービス等利用計画作成、障害支援区分認定調査など、生活・就労など幅広い支援に努めました。相談件数6,220件でそのなかで雇用・就労関係の相談が3,343件、全体の61%を占めています。平成25年4月より民間企業に対する障害者法定雇用率が1.8%から2.0%に引き上げられたこともあり、平成26年度については就労者が44名の実績となりました。またサービス等利用計画作成に係る対応・相談件数は803件と過去最高となりました。今後も幅広い支援が求められております。

8. 主な全体行事

①学園感謝デー(あじさいまつり)を6月20日(金)~6月22日(日)を万田・高根地区と土屋・吉沢地区に分かれて開催しました。

万田・高根地区では湘南平のあじさいまつりに、地域の皆さま、平塚市長様、本田技研工業様はじめ日頃よりご支援いただいている方々においていただき、植栽した200種4000本のあじさいが美しく咲いている様子を見ていただきました。また、陶芸体験、絵手紙教室、お茶席を催し自主製品の販売も好調でした。土屋・吉沢地区では工芸体験、どんぐりポット苗づくり、お花のマグネットづくり、音楽コンサートなどを開催し、地域の中学校生徒の演奏など交流ができました。さらに湘南ベルマーレの協力を得て、子供サッカー教室も開催し地域の子供たちにも楽しんでいただきました。

②平塚市総合公園にて第41回平塚市緑化まつりが4月26日(土)~27日(日)の2日間にわたって開催され、「平塚市民の花なでしこ」の苗約1,000鉢を市民の皆さんにお配りしました。また地域の公民館、自治会館及びともしびショップ湘南平でも約1,000鉢をお配りし、市民の皆さんよりたくさんの感謝のお言葉をいただきました。

③第64回湘南ひらつか七夕まつりが7月4日(金)~6日(日)に開催され参加しました。毎年ご協力くださっている田中紙店前に「はばたき!~笑顔・未来・夢~」をテーマに掲げ、ご本人一人ひとりが描いた自分の顔を吹き流しに貼り、仙台和紙の折鶴は風に舞い、未来へのはばたきを表現する仕上がりとなり、竹飾りコンクール昼の部で入選に入賞しました。立ち止まり和紙の感触を楽しむなど、皆さんに喜んでいただけたことが何より価値のあることでした。

④第16回さわやか文化スポーツ大会を「ひらつかサン・ライフアリーナ」(平塚市馬入公園)にて平成26年10月4日(土)に開催しました。地域ご来賓をはじめ競技指導者、ボランティアのご指導のもと、総勢764名が参加し13種目の競技に本人自らが選り参加

し、スポーツを楽しむ機会として行いました。自主製品の販売をはじめ、絵手紙・生花・その他文化作品の展示を行い、文化・スポーツを通じてふれあい、さわやかな一日を過ごすことができました。

⑤本田技研工業様との交流は、業務多忙にも関わらずご来訪いただき楽しく有意義な様々な交流を行うことができました。6月20日(金)学園感謝デー・あじさい祭りに、埼玉製作所調達保証室資材ブロックリーダー様他2名が来訪され、HONDA Tシャツをいただきました。7月21日(月)、23日(水)、25日(金)には、第85回都市対抗野球大会の応援に、利用者ご本人、ご家族ともども応援団を結成、東京ドームで応援。8月3日(日)は、真夏の祭典(埼玉製作所)に参加。12月18日(木)クリスマスに向けて購買本部・各製作所皆様が来訪され、心温まるプレゼントを沢山頂きました。平成26年1月18日(日)には、埼玉製作所の新春駅伝2015に利用者ご本人と職員で参加しました。

⑥ボランティアこぐま会の協力のもとに第10回大山登山を11月1日(土)に計画しましたが、今年度は残念ながら雨天のため中止となりました。また各施設で行っている全体旅行を実施。また、地域の地区社協、自治会、民生児童委員の方々を一日園長としてお迎えして地域交流を図りました。

9. 月報しんわ

月報編集委員会が中心となって、学園の活動報告や情報を、見やすく且つ内容の充実に努めています。関係者はじめ地域、ボランティア、社会ご支援者、行政に隔月に1,314部発行、情報開示に努めました。今年よりホームページでも公開しています。

III. 保育園運営について

いずみ保育園の再整備が「安心こども基金」を活用し、平成26・27年度の2ヵ年事業として進行中です。再整備後、現在の定員を20名増員し140人定員と定め、平塚市の待機児童対策の一端を担います。現在、万田ホーム駐車場に仮設園舎の建築がされ、5月25日より仮設園舎での保育をスタートする予定です。現園舎は、6月より解体がはじまり、平成28年3月中旬には新園舎が完成する予定です。また、富士見保育園は築36年を経過し建物の施設維持管理に努めると同時に、子育て支援の拠点施設として一時預かりや開放保育の保育ニーズに対応しております。つどいの広場どれみは、在宅の乳幼児と親の気軽に集える場として、計10,019名の多くの方が利用されました。

IV. 職員の処遇について

一人一役を合言葉に、一人ひとりが学園運営に参加することを主眼に各種事業を展開しました。

1. 人事考課制度の導入について

福祉・介護職員処遇改善加算のキャリアパス要件における見直しの一環とし、人材育成と福祉サービスの向上、並びに組織運営の活性化を図ることを目的として、重点目標Ⅱ運営1.2.のとおり、実施しました。今後も研修制度と合わせ人材育成を運営方針の要の一つとします。

2. 職員互助会について

職員の福利厚生を推進するため、法人全職員参加のもとに互助会を設立して18年。有効に運用、職員の安心感は深いものがあります。今年度は職員健康共済規定出産休業援助事業による出産給付金の支給が6件と多くありましたが、一般疾病による療養給付金の支給が無かったことが幸いです。進和会(家族会)の助成に深く感謝します。

3. 労務について

職員労務委員会と協調してすすめました。厳しい経済情勢ですが、ご本人への支援向上のため互いに努力していく事を申し合わせしました。今年度はルネッサンス就労継続支援A型における就業規則および給与規程について改定をおこないました。

4. 職員研修について

職員の資質向上のため各種研修会の実施及び積極的な参加を図りました。特に法人内で実施した研修は、「新人職員研修」(9名)、「施設現場見学会」(24名)、「法人内交流研修」(6名)、「種別間研修」(6名)、「理事長講話会」(41名)、「階層別研修」(121名)を実施し、

広い視野で現場での支援に活かしていけるような研修会を実施することが出来ました。講演会は、(株)ファンケルの中里氏に講演を依頼し、9月2日(火)にしんわルネッサンスにて「ビジネスマナー講座研修」(34名)を実施し、社会人としてのマナーの基本を再確認するよい機会となりました。外部研修については、階層別に積極的に参加しました。また、12月5日(金)には進和学園職員の交流を図るため、大磯プリンスホテルボウリングセンターにて「職員ボウリング大会」(101名)を実施し、大変有意義な交流会となりました。

5. 永年勤続職員表彰について

勤続5年(16人)、10年(13人)、15年(7人)、20年(7人)、25年(2人)、30年(2人)、35年(2人) 計49人の永年勤続者に対して、障がい部門は、はばたき進和で6月12日に、保育部門は6月24日に、感謝金を贈り、表彰感謝を実施しました。

VI. 理事会・評議員会開催の状況

開催日時	出席者	審議・承認事項
評議員会 平成26年5月18日(日) 10:00~11:30 進和万田ホーム	評議員20名	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業報告について 決算報告について 監事監査報告 いずみ保育園の再整備計画について
理事会 平成26年5月18日(日) 13:30~15:00 進和万田ホーム	理事9名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム(ファミリーしんわ)の定員増について 評議員の委嘱について(理事会)
評議員会 平成26年11月24日(月) 10:00~11:30 しんわルネッサンス	評議員20名	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度第1次資金収支補正予算について いずみ保育園の再整備計画について しんわグループホーム変更計画について しんわルネッサンスA型従業員の就業規則・給与規程の一部改定について
理事会 平成26年11月24日(月) 13:30~15:00 しんわルネッサンス	理事10名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 監事の選任について(評議員会) 評議員の委嘱について(理事会)
評議員会 平成27年3月15日(日) 10:00~11:55 進和万田ホーム	評議員18名	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度第2次資金収支補正予算について 平成27年度事業計画(案)について <ol style="list-style-type: none"> 法人事業計画・日程について 利用者状況(市町村別一覧)並びに職員構成表について 自立支援サービス計画図並びに組織図について 生産事業推進計画について (事業計画図・自主製品販売先一覧) 人事計画(職員配置表)並びに採用職員について 平成27年度当初予算(案)について いずみ保育園建替新築工事二つについて 定款細則について 運営規程・経理規程の一部改定について
理事会 平成27年3月15日(日) 13:30~15:40 進和万田ホーム	理事10名 監事2名	

平成27年5月17日
社会福祉法人進和学園